

わたしたち認定看護師です！！

認定看護師は、高度化し専門分化が進む医療の現場において、
水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

「認定看護分野」ごとに日本看護協会が認定しています。



実践



指導



相談

認知症看護

当院には認知症看護認定看護師（B課程修了）が2人います。多職種も交え日々情報共有し、相談に対して病棟スタッフと協働しながら入院・治療環境の調整やその方に合ったケアを考えます。職員の認知症対応力向上のための教育も定期的の実施しております。



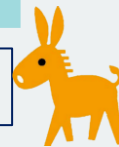
ラウンド

入院による環境の変化をきっかけにせん妄や認知症の症状が強くみられる方に「認知症・せん妄ケアチーム」でカンファレンスやラウンドを行っています。また、月に一度「認知症リンクスタッフ会」では認知症に関する勉強会や事例検討を行いスタッフの認知症に関する知識を深め、安心・安全な入院環境を提供できるようにサポートしています。



院外活動

認知症キャラバンメイトとしてサポーター養成講座やオレンジカフェに参加して地域との関わりも大切にしています。



みかんカフェ

入院患者さんを対象に週に2回程度、季節を感じてもらえるようなレクリエーションを企画しています。天気の良い日は散歩をすることもあります。

感染管理

感染管理認定看護師の役割

院内全ての人を感染から守ることを使命とし、多職種と協働しながら組織横断的にチーム医療を担います。



研修会

- 医療関連感染の予防・管理システムの構築
- 医療管理感染の予防・管理に関する科学的根拠の評価とケア改善
- 医療関連感染サーベイランスの立案・実施・評価

当院のやりがいと魅力

実技訓練

当院は、急性期病棟と障がい者病棟があります。急性期病棟で求められるのは感染拡大を防ぐスピーディーな対応です。一方、障がい者病棟は入院が療養の場であり生活の場でもあることから、同じ感染対策でもより個別性を重視した持続可能な感染対策が必要となります。どちらも根幹になるのは標準予防策の徹底となりますが、それぞれのアプローチの仕方を試行錯誤しながら見出していくのは、当院ならではのやりがいであり、魅力と感じています。

慢性心不全看護



看護外来やってます！

2022年10月より心不全看護外来を開設しています。病気と付き合いながらご自身の暮らしが続けられるよう、ご本人ご家族のお気持ちを伺いつつ、訪看さんや在宅支援者との連携も行っていきます。

チーム医療

心不全は医師による治療だけでなく多職種での患者支援が大切です。心不全療養指導士の資格を持つスタッフが多数活躍しており、学会等で勉強しながら切磋琢磨しています。



～外来看護師さんにもご協力いただきながら～

心不全手帳

自己管理ツールとして入院中に病棟看護師より心不全手帳をお渡しすることがあります。通院時にお持ちいただく心不全手帳を通じて入院から外来へ看護師が継続的な支援を実施しています。



Since 2016

皮膚・排泄ケア

褥瘡、足の傷、ストーマ（人工肛門・人工膀胱）を保有している方、おむつを使用している方へのケアを専門にしています。その人らしさを大切に考え、患者さんご家族が安心して暮らせるようなセルフケアをご提案しています。時には退院後の患者さんのご自宅へ訪問し、訪問看護師とも相談しながら在宅療養を支援しています。

ストーマ外来

当院でストーマを造設した患者さんを対象に専門外来を開設しています。ストーマ造設術前のオリエンテーションの場としても活用しています。じっくりをお話を伺いながらストーマのある暮らしについて共に考えることができ、やりがいのある活動の一つです。



院内研修講師



看護の質向上のために院内スタッフを対象に研修会を開催しています。

褥瘡回診



多職種から構成されるチーム回診やリンクスタッフと『スキンケアラウンド』を行い、看護師のOJT教育をしています。

がん性疼痛看護

身体的な苦痛だけでなく、トータルペインとしてとらえ、患者様やご家族の苦痛を緩和し、QOLを維持できるように対応しています。

患者様やご家族の「つらさ」に対応できるよう、対話することを大切にしています。



緩和ケア通信

緩和ケアに関するトピックスや患者様やご家族を通して感じたことを伝えさせていただいています。

(毎月1回発行)



チーム医療

緩和ケアチームとして、多職種で連携して、患者様やご家族への支援を行っています。

早期から緩和ケアチームが介入できるように、外来看護師との情報共有も行っています。

家族支援

患者様だけでなく、ご家族もケアの対象です。ご家族にできるケアを提案しています。

